

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 7日

都道府県知事  
(市長) 殿



提出者

住 所 大分県杵築市大田永松13番地  
氏 名 長谷雄牧場有限会社  
代表取締役 長谷雄一彦  
電話番号 0978-52-3138

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

○

事業場の名称	長谷雄牧場有限会社
事業場の所在地	大分県杵築市大田永松13番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	01農業
② 事業の規模	肉用牛 579頭
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿・・・自らたい肥化 動物の死体・・・化製場へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

場長 (廃棄物統括責任者)  
 廃棄物処理方針の決定  
 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認

事務員 (廃棄物実務責任者)  
 廃棄物処理計画の作成  
 委託契約の締結事務  
 産業廃棄物管理表の交付・管理  
 行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	6016 t	2.5 t
① 現状	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	5376 t	2.5 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 動物のふん尿
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 4049 t t
(これまでに実施した取組) 堆肥化	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 動物のふん尿
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 3618 t t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 動物のふん尿
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 1967 t t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 動物のふん尿
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 1758 t t
(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	t	2.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場に委託処理している			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
②計画		全処理委託量	t	2.5 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場に委託し処理している				
※事務処理欄				